

《高女グローバル研修 in USA Day9 (12月16日) 報告書》

The final day of USA - いよいよ迎えた最終日。(ん？実際にはもう1日ありますが、カテゴリーとしては移動日ということで割愛...予定。)

女子高生の胃袋の強靭さを思い知った朝食後、予定通り 8:30 にホテルをバスで出発、向かうは国際連合 (UN) です。朝の通勤ラッシュの影響もそこそこに、早めに国連本部に到着です。入館には入国審査よろしくセキュリティチェックが。違いは職員の方が若干フレンドリーなこと。不意に優しい顔で「Ohayo」と言われ、思わず真顔で返した返事は「pardon?」。微妙な空気の流れる中スタートを切りました。

3 グループに分かれて実施となった国連ツアー、1 班を担当してくれたのは Adalgisa さんです。ツアーの初めに“Peace & Security” “Development” “Human rights” を繰り返し強調した後(高女生、Repeat after her をしていました)、“You guys can change the future ,change the history”とのメッセージとともに、いつか女性の事務総長が現れる日を心待ちにしていると話してくれました。そしてそれはあなたたちかもしれないのよ、と。

1 時間程のツアーは国連内部の見学が可能です。国連の役割を様々な掲示物をもとに説明してくれ、実際にマララさんがスピーチを行った会議場にも入ることができます。また今日は実際に会議中の会議場の内部にも入れてもらえました。もちろん立ち止まって写真を撮ったり、突然後ろから意見を言って会議に参加してみたりはできませんが、貴重な空気を一瞬体験することができました。SDGs についても、より当事者意識をもって捉えるきっかけになったのではないかと思います。ツアーの終わりに Adalgisa さんがインターンシップの情報もあるよ、とインフォメーションセンターを教えてくださいましたので一行は移動。受付にいたのもインターンの学生さん(中国の方かな?)で、少し話を聞いたところもし本気で考えているのであれば大学に入学してすぐに申し込みをした方が良いとのこと。半年は待たされるそうです。こちらの学生さんの専攻は International relations (国際関係学) だそうですが、分野は関係ないとのことでした。ふと思い出したのがグローバル研修 1 期生。国連で働きたいといていた当時 1 年生の彼女は、ガイドをしてくれた職員の方に連絡先を聞いていたな。彼女のこの時の行動が今につながっていることを願ってやみません。

国連を出た後は、バッテリーパークへ移動。氷点下の曇り空の下、先に見えるは自由の女神。思わず「小さいし！」とのつつこみを受けながらも、穏やかにそこに立つ女神様を背景に、写真撮影。冷たい NY の空気がなぜか少し心地よく感じたのもここまでの経緯があるからでしょう。

昼食後は 911 メモリアル(博物館)の見学です。2001 年 9 月 11 日、まだ生まれていなかった彼女たちにとって、世界を震撼させたこの日のことをどのように捉えているのか非常に興味がありました。学校ではあまり取り上げられることがないとのことでしたが、何かのきっかけで調べたことがある生徒さんといえば、911 という言葉と実際にあったことが現実として繋がっていない様子の生徒さんもありました。まずはツインタワーの跡地 Ground Zero に立ち、ここで実際に起きたことに思いを馳せます。ガイドのイワキさんは、生徒さんにこう語りかけてくれました。「ここで起きたことは非常に悲しく恐ろしいことだけれど、アメリカ人はもう前を向いている。だから私たちはテロをなくすために何ができるのかを前を向いて考える必要がある。」と。またアメリカではここで犠牲になった方々を「Hero」と呼ぶのだそうです。なんの罪もなく奪われた命。彼らのためにも何ができるのか、国連からのメッセージにもつながります。平日であるにも関わらず様々な国から多くの方が博物館を訪れている姿に、「前を向いて歩く」という意味が少しだけ咀嚼できた気がしました。

911 メモリアルの後は最後のショッピングを挟み、本日の、いえグローバル研修のフィナーレへと向かいます。今年で 4 回目になる NY 在住群馬県ご出身の方々とのレセプションです。昨日に続き OG の大西潤子さんの進行の元、7 名のゲストの方との懇親会となりました。事前にとらせていただいたアンケートをもとに席を決めており、2 ターン行います。様々な職種の方にお越しいただき、各テーブルにて和やかな談笑が始まりました。お仕事内容について、なぜこの仕事を選んだのか、NY での生活について、また英語を話せるようになるコツなど...皆余すことなく情報を得ようとしている姿がそこにありました。所謂一般的な質問だけでなく、先週ボストンに残してきた疑問も最後ぶつけていたのかもしれない。レセプションの終盤、ここからは高女生からの発信です。昨日に続き今日の移動車内でも最終の打ち合わせを。ある 2 年生が見学の途中「決意表明をしたい」と提案してくれました。なぜ決意表明かを聞くと、「私たちがアメリカでの経験も踏まえてこうなりたい、と伝えることが、私たちのために時間を割いてくれた方々への最大の感謝の表現。ゲストの方々も来てよかったと思ってくれるのではないかと」の

こと。いいね！やろう！時間も校歌斉唱も含め 15 分程度と決まっているため、3 人のみ行くことになりました。これも勿論立候補です。穏やかな表情で頷きながら決意表明に耳を傾けてくれるゲストの方々。即興のスピーチいかがでしたか？彼女たちの心からの言葉が、皆さまにとっても今後の活力となりますように。

余談ですがレセプション会場への移動のバスの中、「校歌を練習したい」との声がどこからともなくあがりました。美しいハーモニーに、思わず韓国人のドライバーさんから「voice of angels」とのコメント。日本語が少し分かるこの方、「school song ですか？ワルツみたいで本当に美しい」と言ってくださり、今日の終わりにバスを降りる際、「素晴らしい歌のプレゼントをありがとう」との言葉をかけてくれました。

私たちは数時間後には NY を出発し、帰国の途につきます。終わってしまえばあっという間などとい月並みな言葉で表現するには、あまりにも濃い 10 日間でした。（後 1 日あるけれど、割愛！）帰りたくないと言いつつも、本当は少しほっとしているのは知っています。どんなことでも本気でやると楽しいね。心地よい疲れとともに、笑顔で日本に帰りましょう。さあ、ここからがスタートですよ！

「お疲れ様でした！！」 寝坊しないでね.....

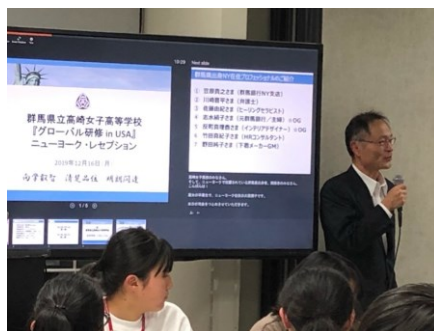
【国連】



【 バッテリーパーク→911 メモリアル→ワールドトレードセンター】



【NY レセプション】





ありがとうございました！
高女グローバル研修 in USA